

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	O170202055		
法人名	有限会社 ティージー・サポート		
事業所名	グループホーム 伏古公園 1階ぽぶら		
所在地	札幌市東区伏古1条2丁目3番23号		
自己評価作成日	令和1年7月11日	評価結果市町村受理日	令和1年9月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0170202055-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様と日々の関わりを大切にしている。職員の意識を高める事で介護の質を上げ、入居者様の生活をより良いものに出来るよう努めている。利用者様の重度化に伴い、御家族様にも協力をして頂き、安心・安な生活を送れるように支援しております。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年8月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市東区の閑静な住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。事業所前に大きな公園があり、利用者が外出を楽しんだり、緑を眺めることができる環境である。建物内は明るく清潔で、浴室やトイレ、エレベーター、階段などが使いやすく造られ、室内装飾や調度品など、家庭的な設えとなっている。職員は利用者に優しく明るく接しており、職員同士のコミュニケーションも良好である。また、職員は運営理念や身体拘束の禁止行為などを正しく理解するとともに、サービス評価表の作成にも参加している。利用者は、趣味の活動や食事の手伝いなど、できることに積極的に参加し、生活を楽しんでいる。利用者の自立に向けた職員の意識も高い。ケアマネジメントの面では、介護計画をきめ細かく作成し、職員は計画をよく理解している。また、介護記録は目標に沿って記録されている。食事の面では、栄養バランスに配慮した美味しい食事が提供されている。利用者のそれぞれの誕生日に、好みのものを提供しているのも特徴である。入浴支援の面では、主に日曜日以外を入浴日とし、各利用者が週に2～3回、入浴できている。入浴剤を使用したり、職員との会話を楽しみながら入浴できるよう支援している。快適な生活環境のもと、利用者本位の生活を送ることのできるグループホームである。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ぽぷら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に理念を読み上げ確認し、職員全員で理念を共有し実践に努めている。	3項目からなる運営理念の中で、3項目めに地域とのつながりに関するという文言を掲げ、地域密着型サービスの意義を踏まえている。理念を共用部分に掲示し、毎朝の朝礼で唱和して共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の夏祭りや、地域の方々との交流の一環としてプランター作りに参加をしている。他施設のイベントへも参加し、交流を深められるようにしている。。	6月に行われる地域の交流花壇づくりや、7月のサマーフェスティバルに利用者が参加している。花壇づくりでは利用者と学童が交流する機会がある。毎年、歌や踊りのボランティアの訪問を受けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム便りの回覧や運営推進会議を利用し、認知症に関する事を議題にしたり、利用者様の状況報告を行う事で支援方法や認知症について更に理解をして頂けるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、開催している。毎回テーマを設定し活動状況や利用者様の状態を報告している。話し合いを行い意見交換、町内会役員、地域包括支援センターとの情報交換の場となっている。	会議を2か月ごとに開催し、地域包括支援センター職員、町内会役員、利用者家族などの参加を得て、防災や身体拘束、特定疾患、サービス評価などをテーマに話し合っている。議事録や案内を家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類提出時の機会に直接確認をしたり、状況により電話をし市の担当者のアドバイス等を得たり運営推進会議の場で地域包括支援センターからのお知らせ等情報を頂き協力関係を築いている。	運営推進会議に地域包括支援センターの参加があり、情報提供を受けている。管理者は市や区の管理者会議に出席している。生活保護やオムツサービスの件で区役所に相談することがある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回内部研修で身体拘束や虐待について学んだり、市で開催する研修に参加をし、更に知識や理解を深め全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。事例検討で職員全員で理解を深めるようにしている。	禁止の対象となる具体的行為を記した身体拘束禁止マニュアルを用意し、年に1～2回、勉強会を行っている。運営推進会議に合わせて身体拘束廃止委員会を開催しているが、委員会議事録は整備できていない。玄関は日中は施錠せず、ユニットから玄関に出る際はベルの音で分かるようにしている。	身体拘束廃止委員会の議事録の整備を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階ぽぽら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内外部研修で制度について学ぶ機会を設けている。現在、制度利用該当者は、いないが今後相談があれば活用し支援できるようにしたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時に十分な説明を行い、その場で不安や疑問点を聞き理解納得していただけるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族との連絡事項や意向等は連絡ノートに詳細を記録し全職員で情報の共有をしている。状況により、医療関係者からも説明をしていただく機械を設ける等、運営に反映させている。	家族の来訪時や電話をした際に意見を聞いている。話し合いの内容を「連絡ノート」に記載し、共有している。毎月、家族宛のお便りを作成することとしており、現在は中断中であるが再開を予定している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議を利用し、職員が自由に意見や要望を述べられる機会を作り、現場の意向等を積極的に取り入れ反映させている。	毎月、全体会議とユニットごとの会議を開催し、職員が活発に意見交換している。管理者と職員の個別面談を必要に応じて行っている。職員は防災、行事、室内装飾などの役割を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が向上心を持って働けるような環境を作り、管理者、代表で話し合い、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修では医学、介護技術の向上を、その他に職員のスキルアップ向上の為、シフト調整をし年に1回以上の外部研修をすすめている。個々の力量を判断し必要に応じ市の研修に参加し、働きながらトレーニングできる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市・区の管理者会議で、職員は外部研修の機会等を通して交流する機会を作っている。研修後は、報告書を回覧し、職員間で情報を共有しサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階ぽぶら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人様の言葉に、耳を傾け不安や困っている事の軽減に努め可能な限り要望を聞きながら、御本人が、安心して生活ができるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記同様。面会時や電話連絡にて、近況を報告し不足している情報の収集に努めている。初期の関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	代表、管理者、ケアマネ、リーダーと御本人様面談を行い、情報収集をし必要なサービスを利用できるよう対応している。状況に応じて他サービスの情報提供をしたり他サービスの利用を検討する等している。御本人が意思を伝えられない場合は、御家族の意見を取り入れ必要なサービスを選択し提供している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今までの生活状況、性格等を考慮し居室または、フロアにて個々又は、集団で、場面場面に応じて、話題提供をしたり、会話をする等し関係を築いている。御家族とのコミュニケーションも積極的に取るようにしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	友人、知人等の訪問時には面会に配慮し、ゆったりと過ごせる場面を提供している。来所時には近況報告を行い喫茶店、外食、買い物など外出支援の御協力をして頂いている。外出時、必要に応じて、介護タクシーの手配や車椅子の貸し出しを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪した際には、居室で過ごして頂いたり、近隣を散歩することもある。御家族様の御協力により、お墓参り、法事など外出・外泊の機会を利用し、馴染みの人との関係が途切れないよう支援に努めている。	4名ほどの利用者に昔の友人や知人が来訪している。家族と一緒に馴染みの美容室に行く方や、送迎付きの理容室に通う方もいる。家族と一緒に喫茶店やお墓参りにも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歩行状態や車椅子利用等状況に応じて席替えを行い、利用者様同士、平均的に関わる事が、できるように努めている。状況により職員が介入し支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ぽぶら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してからの関わりは、殆どないが、状況にに応じ相談や支援に努めている。契約終了後に、御家族様から電話や来所にて近況報告や相談を頂く場合もある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人の生活状況を把握し、思いに寄り添いながら、居心地の良い暮らし作りの検討をしている。	8割の方が言葉で思いや希望を表出でき、難しい方の場合も問いかかけの反応などから把握している。基本情報やセンター方式のB-3シートを整備しているが、生活歴の情報は少ない。	センター方式のB-2シートなどを参考に、利用者の生活歴の情報を充実することを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様等関係者からの情報収集や御本人様との会話の中から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りで、情報を共有し現状の把握に努めている。個々の観察を行い記録をとり、過去の記録と照らし合わせながら把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の状態を全職員で把握し、モニタリングしている。御本人の思いや御家族の意見を取り入れながら計画を作成している。	介護計画を3～4か月ごとに見直し作成している。カンファレンスで職員の意見を収集しモニタリング表を作成し、計画を更新している。介護記録は計画目標を意識し、番号を記載しながら記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りや毎月のフロア会議で、情報の共有をしながら実践し、介護計画に基づいて記録をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに対応する為自施設では出機内サービスは、他サービスの提案、紹介をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの来訪、地域の方々との交流の一環として、お祭りや花壇作りに参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を利用しているが、希望により、御本人、御家族が望む医療機関を受診している。	利用者全員が医療機関による2～3週に1度の往診を受けている。内科以外の通院は家族または事業所で支援している。受診内容を個人ごとの「診療記録」に記録し情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階ぽぷら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週月曜に訪問看護師が来所している。利用者様の状況を報告・相談したり、適切な処置や対応方法などアドバイス頂き対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、可能な限り施設添書を提出し処方薬やADL等を報告し、御本人様が安心して治療できるよう努めている。又、退院に向けては、病状説明に同席させて頂いたり、お見舞いの機会を利用し状況や経過を確認し、御家族様や病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	指針の中に、対応が難しい内容も明記している。状態が悪化しても、経口摂取が可能な場合は、主治医、看護師の指導の下で、御家族様に説明をし、話し合いをし、可能な限り支援に取り組んでいる。	利用開始時に「重度化した場合における対応指針」を説明し、同意書を得ている。事業所での看取りは難しいため、家族にその旨を説明している。重度化して事業所での対応が難しくなった場合は医師と相談の上、入院先等を紹介している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備え内部研修を行っており事例検討で更に理解を深めている。外部研修講習参加者は、報告書を提出し回覧し、全職員で、情報共有をしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	内外部の研修の参加により、避難方法等を学び実践し身につけるよう努めている。避難場所の確認や物資の備蓄をし災害時の対策についても協議している。運営推進会議の場でも、協力を呼びかけている。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を行っているが、過去1年は、消防の直接指導や地域住民の参加は得られていない。災害時に必要な備蓄品の用意を進めている。職員の救急救命訓練の受講は十分といえない。	避難訓練のうち年1回は消防の指導を受けて行うこと、および地域住民の訓練参加に向けて継続的な呼びかけを行うことを期待したい。また、各職員が3年に1回程度、救急救命訓練を受講できるよう、計画的な取り組みを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修で接遇を学ぶ機会を設けている。誘導時は、人格を尊重しプライバシーに配慮し声掛け、対応をしている。	名前の呼び方は「さん」づけとし、やさしい言葉がけで接している。申し送り時には小さな声や名前をイニシャルで伝えプライバシーに配慮して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の思いを傾聴するように努め、スタッフ間でも情報交換をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合だと感じた時は管理者に相談し軌道修正をしている。個々のペースに配慮しなるべく御本人の希望に沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日、肌着や洋服を交換し清拭や入浴で清潔を保持している。訪問理容や外出での床屋利用により支援している。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ぽぶら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には特別メニューで、お祝いをしている。季節を感じられるように、施設の畑で取れた野菜で収穫祭をしたり、バーベキュー、流しそうめんや鍋等を企画している。食事の下準備や食器拭き等を一緒に、行っている。手伝う方が固定化しないよう配慮している。	栄養バランスのある美味しい食事を提供し、利用者ごとの誕生日に本人が好きな料理でお祝いしている。利用者也畑の収穫を手伝って収穫祭を行い、食卓に上ることもある。外食ツアーで料理を選んで貰ったり、寿司の出前などで食事が楽しめるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるメニュー作成。食事や水分が少ない方には声掛けをし、状況に応じて、刻み、ミキサーで提供をしている。摂取困難な方に関しては、何故、摂取が出来ないのかを職員間で話し合い、情報共有をし個々の状態に応じて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に必ず声掛けをし、自身で出来る方は、見守りをする。声を掛けしないとしない方も居るので必ず声掛けし誘導している。歯科医師による診察、口腔ケアの指導を受ける等個々に合わせた対応をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	下着を使用している御利用者様は、現状維持が出来るよう、御本人の希望に応じたり、声掛け誘導し対応している。パットを必要としている方には、排泄パターンを把握し、声掛けする等し個々に合わせた支援を行っている。	温度版や介護記録に排泄の状態を記録し、個人の状態に沿って対応している。声かけや誘導時は羞恥心に配慮して行っている。おむつを使用しないよう衛生用品を工夫し、自立に向けた排泄に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の摂取、運動の声掛けを行っている。個々の排泄パターンを把握し腹部マッサージや、水分提供等、個々に合わせ行うが、場合により主治医の指示で下剤等の使用により対応する事もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日入浴を優先し対応しているが、御本人様の意思を尊重し対応している。入浴が楽しめるよう、声掛けを多くし、気持ち良く入浴してもらえるよう支援している。	日曜日を除き午後の時間帯に週2回の入浴を支援し、同性介助やシャワー浴の希望に応じている。入浴を拒む場合は職員が交代することもある。浴槽の出入りで困難な時は職員の2人介助で安全な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、傾眠している場合は、状況を見て、居室で静養して頂いている。夜間眠れずに居る方には、安心出来るよう声掛け、話をし安心して休めるよう個々に合わせた支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が薬情を確認し、理解・把握に努めている。職員間で、情報を共有し、主治医、看護師に相談し変更をする事もある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人差はあるが、お手伝いなど小さなことでも御本人が出来た事を見つけ役割や楽しめる事を取り入れている。普段の散歩、外気浴の他、行事での外出や外食で楽しみごとや気分転換が出来るよう支援している。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ぽぶら)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は、伏古公園や近隣へ散歩に出掛けている。季節に応じて町内のイベント等にも参加している。行事での外出や、御家族様の協力により、外食、美容室、墓参り等支援している。	事業所前の伏古公園で日々散歩し、車椅子の利用者も出かけている。新川方面の桜や公園周辺の散歩で季節の花を見て楽しんでいる。冬期には外出する機会が少なく、今後は個人や数人で出かけるような外気に触れる機会を考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、施設で管理をしている。外出の機会を利用し、つかえる機会を設けている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人の希望により対応している。手紙が届いた際は、代読しお伝えしたり、遠方の御家族様から電話が来た際には、御本人様に取り次ぐようにしている。携帯電話を持参されている方は、ご自身で娘様に電話を掛け、やりとりをしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースの清掃・消毒を徹底している。廊下や居間には、行事の写真や掲示している。居間兼食堂には壁画や花等を飾り季節を感じながら居心地よく過ごして頂けるよう工夫している。温湿度計での確認、加湿器の使用により室温・湿度管理も行っている。	玄関に面した居間の窓に利用者で作成した季節の装飾を施し、窓からは公園を眺めて季節感を楽しむことができる。壁には利用者の作品、職員が描いた利用者の似顔絵、手作りの日めくり、ボードに今日の献立内容を書き、日常の暮らしがわかる快適な環境づくりに温もりが感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の状態に応じて、共用部のソファーを使用して頂いたり、席替えや、レクリエーション等の機会を利用し、御利用者様が思い思いに過ごせるよう工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、使い慣れたタンスや物入れ、ソファーやベット等を持ち込んで使いやすく配置している。カラオケやラジカセ等を持参して、趣味を継続している方もいる。写真を居室に飾ったり、アルバムを持参したり、落ち着いて過ごせるように工夫している。	居室には仏壇、テレビ、自宅で使用していた馴染みの家具類や小物類が持ち込まれている。入居前の暮らしを継続し、本類、趣味を活かした作品や家族の写真、職員のお祝いメッセージカードなどを飾り、居心地のよい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険物と思われる物は、御家族様と相談し撤去や、家具の配置等を検討し安全に過ごせるよう工夫をしたり、歩行状態に応じて室内履きの具合をチェックし必要に応じて購入したり、買い替えを行ったりしている。車椅子での自走運動や、理学療法士によるリハビリの実施、可能な方は、自身の洗濯物を干して頂いている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170202055		
法人名	有限会社 ティージー・サポート		
事業所名	グループホーム 伏古公園 2階かもめ		
所在地	札幌市東区伏古1条2丁目3番23号		
自己評価作成日	令和1年7月11日	評価結果市町村受理日	令和1年9月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0170202055-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年8月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様と日々の関わりを大切にしている。職員の意識を高める事で介護の質を上げ、入居者様の生活をより良いものに出来るよう努めている。利用者様の重度化に伴い、御家族様にも協力をして頂き、安心・安な生活を送れるように支援しております。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に理念の復唱を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のプランター作りや町内会開催のサマーフェスティバルに参加し交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム便りを作成し、町内に回覧したり、運営推進鍵の機会を利用しご利用者様の状況報告をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催し、助言を頂いたり、意見交換を行っている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話での相談や、時に窓口に出向いて報告、相談を行い協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修や外部研修参加により、知識の確認、拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加したり内部研修を通じて各制度について理解を深め活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を掛けて説明を行い、理解、納得して頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。面会時等に要望を聞き取り出来る限り対応している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のフロアー会議や個人面談時、時にはアンケートにより意見等を聞くなど反映できるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談や管理者、リーダーから状況を聞き、より良い職場環境整備・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月フロアー会議で行う内部研修の他、シフトの調整により外部研修参加の機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月の会議は実施しているが同業者との交流には至っていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談の時点で不安・要望を伺い、入居後施設での生活にスムーズに馴染めるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記同様。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人、ご家族様と面談の上、御家族様の協力を得ながら可能な限り支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	可能な限り、日々の生活のお手伝いをして頂き、暮らしを共にする関係を築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時の近況報告に加え可能な御家族にはイベントの参加等を促している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族の協力により、外出、外泊等で馴染みの人や場所との関係が途切れぬようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションの時間の他に、日々の生活の中でも必要であればスタッフが入り支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス(契約)が終了した方との関わりは殆どは無い。稀にご家族が来所された場合には快く対応するよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	新たに個々の思いや意向があった時は、スタッフ間で共有する為、申し送り時会議で話し合い検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書を参考にする。又来所時に御家族や知人に等に情報をいただけるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタチェックにて健康状態の把握。申し送りにて日々変化の把握に努め手いる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個々のモニタリングを行い、課題となる事柄、御本人の好む事などを取り入れ御家族のからの要望等も伺い作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化、気づきがあった場合は記録、連絡ノートに記入したり口頭で情報を共有し実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	問題発生時には、チーム全体で早期に問題解決、対応できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの取り入れ、消防の防災訓練、町内の行事参加するなど楽しんだり交流が出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診、緊急時24時間体制、訪問看護、歯科往診等基本的には在宅医療で対応するが個々で専門医と連携をとり必要に応じて受診できるよう依頼している。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週月曜日に訪問看護師が来所している。日々の様子を伝え、情報の共有をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と退院時等、蜜に話し合いをし、お見舞いの機会を利用し経過や状況を確認し情報交換をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族様の要望を聞きながら、事業所内で出来ること、出来ない事等、十分に説明をし御納得いただけるよう対応している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議の時間を利用し対応にについての研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練の他、設備や備蓄品の確認と補備等を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせた声掛けや介助をする等対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の希望を尊重し、出来る限り自己決定できるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれのペースを大事にしている。居室で過ごす時間が多い時には、声掛けをしリビングで他者との交流を図っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケアや入浴後等、自力で整容出来る方にはお任せをし、自身で出来ない方には職員が行っている。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に合わせて、盛りつけや食器拭き等、無理なく出来る事を行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録する事で職員で情報の共有を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に声掛け必ず声掛けを行い誘導をしている。介助が必要な場合は、出来る所までは、自身で行っていただき職員が仕上げを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者に応じて誘導、介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取、運動の促しをしている。排泄状況によっては、医師と相談し下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調を観察し、声掛け入浴をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	御本人の希望に応じて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医と連携し、薬情を確認し全スタッフで理解をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日のレクリエーションや、年間行事等で支援している。		

グループホーム 伏古公園

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階かもめ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩や年間行事の中で、外食ツアー等を企画し外出の機会を作っている。御家族様にも参加して頂き協力して頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々には、所持をしていないが、、御本人の希望する品物は、職員が代行し購入をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様や知人の方から電話があった場合には、取次ぎ、話をして頂いている。また電話を掛けて欲しいとの希望があった場合には状況に応じ対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下には、行事等の写真や製作物の掲示をしている。共用スペースには、お花や植物を飾る等季節感を取り入れる等の工夫をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の生格等、会話が出来やすいよう配慮した座席。状況に応じて席替えをする事もある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、御本人と御家族で居心地良いようにと慣れ親しんだものを持参している。職員のアドバイスにより購入する場合もある。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体能力に応じて、食器拭き等を行って頂いている。御利用者様の状態に応じて可能な限り自立した生活を送れるよう努めている。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 伏古公園

作成日：令和 1年 9月 12日

市町村受理日：令和 1年 9月 17日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束廃止委員会の議事録の整備に期待したい。	見やすくわかりやすい議事録を作成する。	運営推進会議議事録、身体拘束廃止委員会会議録のファイリングを工夫する。	1ヶ月
2	23	センター方式のB-2シート等を参考に利用者の生活歴の情報を充実することを期待したい。	御本人や御家族様から情報収集をし、Bシートに反映していく。	定期的に行うモニタリングやアセスメントの際に情報を追記し取り組む。	12ヶ月
3	35	避難訓練のうち1回は消防の指導を受けて行うこと、および地域住民の訓練参加に向けて継続的な呼びかけを行う事を期待したい。また、各職員が3年に1回程度、救急救命訓練を受講できるよう計画的な取り組みを期待したい。	消防と日程調整を行い避難訓練を計画する。 運営推進会議で地域住民の方への協力を呼びかける。救急救命訓練を受講し知識を深める。	早めに日程調整を行い、地域住民の方、ご家族様に周知し参加へ繋げる。 シフト調整を行い受講スケジュールを組む。	12ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。